

柔道整復演習Ⅳ		講義	准教授 伊藤 新
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371402

### 1. 授業のねらい・概要

この科目は、柔道整復師国家試験対策の授業を行う。整形外科および外科学概論の科目で、国家試験によく出題されている内容や、キーワードを説明する。また、国家試験の傾向をつかみ、問題をしっかり解答できるようになることをねらいとする。

### 2. 授業の進め方

第1～8回は整形外科、第9～15回は外科学概論の授業を行う。毎講義ごとのテーマに合わせてPower Pointを用いて授業を行う。また、国家試験問題を解きながら、その解説も行う。

### 3. 授業計画

1. 整形外科診察法・検査法	9. 総論1 (損傷・炎症と外科感染症)
2. 整形外科治療法・骨関節損傷総論	10. 総論2 (腫瘍・ショック)
3. 疾患別各論1 (感染性疾患)	11. 総論3 (輸液・輸血, 消毒と滅菌)
4. 疾患別各論2 (骨および軟部組織腫瘍)	12. 総論4 (手術・麻酔, 移植)
5. 疾患別各論3 (全身性の骨・軟部疾患)	13. 総論5 (出血と止血, 心肺蘇生法)
6. 身体部位別各論1 (体幹)	14. 各論 (頭部, 胸部の外傷)
7. 身体部位別各論2 (上肢)	15. 各論 (腹部の外傷)
8. 身体部位別各論3 (下肢)	

### 4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

整形外科および外科学概論の教科書, 配布した資料を用いて毎講義の内容を復習すること (1時間程度)。また, 次の授業に備えて予習を行い, 疑問点を明確にしておくこと (1時間程度)。

### 5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

試験実施の際, 解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後もしくは授業内で説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

国家試験でよく出題されているキーワードを把握し, 内容を理解しながら問題を解き, 解説できるようになる。

### 7. 成績評価の方法・基準

定期試験を実施し評価する (100%)。

### 8. テキスト・参考文献

- ①整形外科改訂第4版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ②外科学概論改訂第4版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ③国家試験で重要ポイントとなる補足資料を配布する。

### 9. 受講上の留意事項

私語およびスマートホンの使用, 飲食, 帽子の着用は禁止とする。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は, 整形外科における実務経験を活かして指導する。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。